

本日の内容項目《 相手のことを考えて 》 【A・Ⓑ・C・D】(○で囲む)

A：主として自分自身に関すること

B：主として人との関わりに関すること

C：主として集団や社会との関わりに関すること

D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

本日の主題名《 広く受け入れる心 》

【1】主題解釈：この主題を学ぶ意義を捉えよう。

(1) まず「内容項目」について、自分自身の捉えを書き出してみましよう。

		自分なりに考えて（自己理解）	他の先生方と話して（他者理解）
価値理解	① この内容項目の大切さ ※それはなぜ大切なのでしょう	<ul style="list-style-type: none"> 自分以外の他者と分かり合うことで人間関係が広がり、自分自身が成長できる。 より広い考えや視野を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> この社会で誰とも関わることなく生きていくことは不可能。他者と協働して生きていく。ものの考え方や捉え方はそれぞれ。ともに生きていくためには、他者のことを考えた言動をとることは大事。
人間理解（誰にでもある弱さ）	② この内容項目の難しさ ※いつでもできますか。誰に対してもできますか。	<ul style="list-style-type: none"> 自分と全く考えがちがう人のことを理解するのは難しい。 自分にとって不都合なとき（気分、立場）は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者のことを考える心の余裕がないときがある。 自分がつらいときやどうしても考え方が合わないとき、相手のことを考えて行動できない。
人間理解（弱さを越えてよりよく生きようとする強さ）深まった価値理解（新たな気づき）	③ それでもなおの大切さ ※難しさを越えて大切にしたいのはなぜでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> 全く考えがちがう人でも、自分の立場や気分が良くないときでも、やはり、相手の思いを考えたり、相手の失敗を許したりすることが、人間関係を豊かにし、自分自身成長することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 考え方や捉え方が違う人に対しても「歩み寄ろう」「理解しよう」とすることは大切。相手もきっとこちらを理解しようとしてくれる。共に生きていくためには、相手を理解し受け入れていくことは大切。

(2) 学習指導要領を見てみましょう。

④学習指導要領の該当ページに書かれている「大切さ」や「難しさ」、「指導の要点」など。

自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分とは異なる意見や立場も広い心で受け止めて相手への理解を深めることで、自らを高めていくことができる。

自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしないなど、自己本位に陥りやすい弱さを持っている。

いじめを生まない雰囲気や環境を醸成するためにも、互いの違いを認め合い理解しながら、自分と同じように他者を尊重する態度を育てることが重要。

(3) 「本日の主題」に焦点化して考えてみましょう。

⑤本日の主題はなぜ、児童生徒にとって大切なのだと思いますか。

自分と異なる考えや意見を持っている人と関わることで、自らを高めていくことができる。

自分と異なる考えや意見を持っている人の意見を受け入れることで、目標を達成することができる。

⑥ ⑤に照らして、本学級の児童生徒は、どのような実態にありますか。（できているところ、まだのところ）

自分と思いが違っていても、友達の気持ちを考えて友達の考えを優先させることができる。

全員で協力して考えをまとめようとするすることができる。

自分の考えと違う友達に対して、自分の考えを押し通そうとすることがある。

どんな指導の方法で授業するか、考えましょう。まず「教材」を見てみましょう。

【2】：教材のどこを用いて授業を作るのか、考えよう。

本日の教材名《ブランコ乗りとピエロ》 ㊦・中 第《6》学年 出版社・教科書名《日本文教出版》

⑦登場人物の役割を捉えよう（主題に照らして）

※主人公はどんなことに悩んでいますか。また他の人物は主人公にとってどのような位置にいますか。

【主人公（ピエロ）】団員たちをまとめるリーダー。入団早々からスター気取りで、言うことを真面目に聞こうとせず、一人で目立って時間を延ばしていたサムに、いつも腹を立てていた。

【サム】・入団早々からスター気取りで、言うことを真面目に聞こうとしなかった。また、一人で目立って、時間を延ばしていた。

⑧主人公の悩み・葛藤・迷いなどの「難しさ」の部分はどこでしょうか。また、「難しさ」を越えてよりよく生きようと決心したり、明るい気持ちになったりする部分はどこでしょうか。

ブランコから引きずり降りしたいほどくやしかった。目立ちたかった。自分だけがスターになりたい。

↓

力の限り演じたようすで、あらく息をしていたサムを見た。ピエロの曲芸はいつも以上に力が入っていた。

↓

「私の心の中から、なぜかサムをにくむ気持ちが、消えてしまったのだ。」

「これから私は、サムを手本に努力していくつもりだ。このサーカス団をもっとよくするために、君にも協力してほしい。力を合わせてがんばろう。」

【3】授業のねらいとゴールの姿、それを導く発問と板書を考えよう。

<p>⑨ねらい：「〇〇する活動を通して、～～しようとする道徳的な判断力（道徳的心情、実践意欲と態度）を高める」</p>	<p>ねらい：「サムを憎む気持ちが消え、穏やかにサムを見つめるピエロの気持ちの変容について考えることを通して、自分と異なる考えや意見を尊重し、大切にしていこうとする態度を養う。」</p>
<p>⑩ゴールの姿：⑨のねらいが達成されたとして、授業の最後には、例えばどのような言葉が児童生徒から出てくるとよいでしょう。複数考えてみましょう。</p>	<p>「相手と意見が食い違ったときは、一度自分の考えを見直すとよい。」 「自分と違う相手の考えも認めることが大切。」 「自分たちの目標は何かを考え、それに向かって話し合うとよい。」 「これからは相手の考えのよいところや納得できるところを見つけていきたい。」</p>
<p>⑪そのゴールに向けた展開として、⑧で見た主人公の「悩みや葛藤など」を捉えさせる発問はどのようなものが考えられますか。</p>	<p>「演技をやめようとしないうサムを見上げていたピエロは、どんなことを考えていたのでしょうか。」 <u>発言後、「そういう気持ち、分かるねえ」と共感を入れると、子どもは安心する。</u></p>
<p>⑫そのゴールに向けた展開として、⑧で見た主人公の「難しさ」を越えてよりよく生きようと決心したり、明るい気持ちになったり」を捉えさせる発問はどのようなものが考えられますか。</p>	<p>「ピエロの手をゆっくり取り、固く握手を交わしたサムは、どんな思いだったのでしょうか。」 <u>発言後、「なるほど、そういう考え方が大切なんだね」と共感すると、子どもは今後の生き方にしっかり見通しを持つ。</u></p>

※上記をもとに、思考を促す発問計画、板書計画を作成していきましょう！